第６号様式

配置予定技術者の能力（総合評価用）

工事名：札幌刑務所職員宿舎構内整備工事

会社名：

|  |  |
| --- | --- |
| 配置予定者の氏名 | 主任（監理）技術者　○○○○ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工事経験の概要注2 | 工事名称 |  |
| 発注者名 |  |
| 施工場所 |  |
| 契約金額 |  |
| 工期 |  |
| 受注形態 | 　□単体　　　　□ＪＶ（出資比率　　％） |
| 従事役職 | □監理技術者　□主任技術者　□その他（　　　　　　　） |
| 用　　　途 |  |
| 構造・階数 |  |
| 延べ面積 |  |
| 工事種目 |  |
| 工事成績注3 | 工事名称 | 従事役職 | 完成年度 | 評定点 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 資格注4 | 当該工事に有効な資格 |
| 　□一級建築士 |

（注１）　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番縦とする。

（注２）　工事経験の概要欄に記載する工事は、法務省発注の工事に限られるものではない。また、第３号様式に記載した工事経験と同一の工事経験を記載する場合でも、必ず所要事項を記載すること。なお、共同企業体の構成員としての経験である場合は、出資比率が

20％以上であることが確認できる書類を添付すること。

（注３）　工事成績欄は、法務省発注工事において、令和元年10月１日から令和６年９月30日までの間に元請として完成引渡しが完了した工事のうち、主任（監理）技術者として携わった工事経験を全て記載し、工事成績評定書の写しを添付すること。法務省発注工事の工事経験がない場合は空欄とする。ここでいう工事は、業種区分が解体又は解体を含む建築一式工事に該当するものをいう。

（注４）　一級建築士の資格を有する場合、同資格を証する書面の写しを添付すること。

（注５）　該当する□を■に置き換えること。